

あさかわ

議会だより

No. 122

令和3年2月10日

福島県浅川町議会

疫病退散！
明るい未来に矢を放て！



補正予算で基金に積み戻し	2
防災会議メンバーを補充	5
特別職と全職員の期末手当を減額	8
一般質問 10人の議員が町政を問う	10
ふるさと写真館	23
町民の声 小針明美さん	24

万円を積み戻し



12月定例会は10日から14日まで会期5日間の日程で開催されました。江田町長が提出した令和2年度一般会計補正予算など14議案は、全会一致で原案通り可決しました。請願1件も採択しました。

一般会計補正予算

令和2年度一般会計補正予算は、歳入歳出それぞれ1億2322万円を増額し、総額を48億3720万円とするもの。

歳入の主なものは、一昨年の水害による災害復旧工事に対して、国からの補助金が合わせて4千万円余りあったほか、旧里小・山小のプール解体等に3千万円余りの緊急防災・減災事業債が計上されました。

歳出では、迅速に災害に対応するため取り崩した財政調整基金に4500万円を積み戻すほか、旧里小・山小のプール解体に3200万円、消防団の耐火服17着、トランシーバー20台購入に250万円が計上されました。コロナ対策として、高齢者のPCR検査に49万円、小中学校の全ての水道蛇口をレバー式のものに交換するため計270個分の119万円も計上されました。

■主な補正の項目 (単位:万円、千円未満切り捨て)

歳入

項目	補正額
県から農地等災害復旧費補助金	3279
緊急防災・減災事業債	3180
町民グラウンド災害復旧費補助金	846

歳出

項目	補正額
財政調整基金積立金	4500
旧里小・山小プール解体費	3200
非常備消防備品購入	250
高齢者PCR検査費	49
小中学校水道蛇口交換	119

基金はどこまで回復するか

【質疑】

問 基金費に関して、国の補助金が後から入り、基金に積み戻すという事で、4500万円計上されている。今後さらにどのくらい見込め、最終的にはいくらぐらいになる見込みか伺う。

答 今回4500万円を積み立てることにより、基金の残高は5億1500万円になる見込みとなる。また、今後積立て予定の、農地等災害復旧費において、まだ1億弱の補助金が入ってきていない。

令和3年度にその分が補助金として交付され、基金のほうへ積立てになるかと思う。それを含めれば6億程度まで回復するという状況である。

災害、コロナ で激減した 基金に4500

プール解体は里・山2校か

問 プール解体費用と
いうことで3200万
円ということだが、こ
れは旧里白石小学校、
旧山白石小学校の2校
ということなのか。解
体にかかる費用の内訳
と、着工予定の時期は
いつなのか。最終的に
は更地になるのか。

答 旧里小、旧山小の
プール2ヶ所の予算と
なる。予算は概算であ
る。着工予定の時期は、
年度内の解体を目指し
て、発注を速やかに予
定をしている。更地に
した後は、指定避難所
の駐車場として利用す
る。

新たなコロナ対策は

問 コロナ関係で、予
算書の中に変化が出て
きたものは何か伺う。

答 それぞれ大きく、
PCR検査に関する費
用と、小中学校におけ
る水道の蛇口のレバー
が今回のコロナ関係予
算計上となる。各小中
学校の校舎の中の流し
場に水道がある。この

水道の蛇口をレバーに
する事を予定している。
数は、小学校に100
個で44万円、中学校に
170個で75万円の予
算計上としている。

問 高齢者のPCR検
査について、対象者、
予定人数、それから自己
負担の額について伺う。

答 特定疾病を持つ高
齢者のPCR検査とい
うことで、対象は65歳
以上で、慢性肝炎、糖
尿病、高血圧といった
疾患を持ち診療を受け
ている方。合計で30件、
30人分を予定している。
国県支出金が24万8千
円という事で2分の1
が補助になっており、

町が2分の1を補助し
て、全額、一応限度額
以内で交付する。

トランシーバーは現場で使え るものを

問 備品購入費のうち
182万円は消防のデ

ジタルトランシーバー
という内容だが、機種
選定に当たっては実際
に現物を使ってテスト
して、よりよい物、現
場で使える物を選定す
べきと思うが伺う。

答 このトランシーバー
はデジタルの物で、町
内全域がカバーできる。
そういう体制を構築し
ている。その分のトラ
ンシーバーの必要台数
20台分を購入予定であ
る。

【採決】 全会一致で
可決しました。



手洗いはしっかりと

条例制定

議会議員・町長選挙運動に公費負担

浅川町議会議員及び浅川町長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例。公職選挙法の一部改正に伴い、議員と町長の選挙に、選挙カー、ポスター作成、選挙運動用ビラの作成を公費負担とする条例を定めるもの。

※内容は下の表のとおりです。



令和元年議員選挙の開票作業

内容等		公費負担上限額
選挙カー	ハイヤー方式	64,500円×5日=322,500円
	個別契約方式 ① 自動車の借入れ ② 燃料代 ③ 運転手の雇用	① 15,800円×5日=79,000円 ② 7,560円×5日=37,800円 ③ 12,500円×5日=62,500円
ビラ	・作成枚数上限 町長選挙・・・5,000枚 議員選挙・・・1,600枚 ・作成単価上限 ・1枚当たり7円51銭	町長選挙 7円51銭×5,000枚=37,550円 議員選挙 7円51銭×1,600枚=12,016円
ポスター	・作成枚数上限 ・作成単価上限 ※いずれもポスター掲示場の数による	[(525円6銭×36か所+310,500円)/36か所]×36か所=329,436円

法律で議員選挙にも供託金導入

町長選挙 50万円

町議会議員選挙 15万円

【質疑】

問 選挙カーの使用契約はどのような内容になるのか。

答 契約関係は、県の定めるものを参考に、町の選挙管理委員会で細則について手引書を作成する予定である。

問 議員選挙において供託金が没収となる条件は。

答 有効投票数の10分の1を議員定数で割り、その10分の1以下の得票数であれば没収となる。

※供託金とは
当選を争う意思のない人が売名などの理由で無責任に立候補することを防ぐための制度です。

問 供託金の納付は町内の金融機関で納付できるのか。

答 現在は法務局で納付となっているが、今後町の選挙管理委員会で検討する。

【採決】 全会一致で可決しました。

防災会議のメンバーを補充

浅川町防災会議委員（ が補充された委員）

番号	委員の種別	所属機関	役職名	種別ごとの人数	番号	委員の種別	所属機関	役職名	種別ごとの人数	
1	会長	浅川町	町長	1	16	町の職員	浅川町役場	議事務局長		
2	指定地方行政機関の職員	福島地方気象台	予報官	1	17		"	学校教育課		学校教育長
3	福島県の知事の部内の職員	県中地方振興局	県民環境部長	4	18		"	社会教育課		社会教育長
4		県中保健福祉事務所	所長		19	教育長	浅川町教育委員会	教育長	1	
5		石川土木事務所	所長		20	消防長、 消防団長	須賀川地方広域消防本部	消防長	2	
6		県中農林事務所 須賀川農業普及所	所長		21		浅川町消防団	団長		
7	福島県警察の警察官	石川警察署	署長	1	22	指定公共機関 又は指定地方 公共機関の職員	東北電力㈱ 白河営業所	所長	4	
8	副町長	浅川町	副町長	1	23		NTT東日本㈱ 郡山支店	支店長		
9	町の職員	浅川町役場	会計管理者	10	24		日本郵便㈱ 浅川郵便局	局長		
10		"	総務課長		25		東日本旅客鉄道㈱ 水戸支社	支社長		
11		"	建設水道課長		26	自主防災組織を 構成する者又は 学識経験のある者	浅川町行政区長会	会長	1	
12		"	農政商工課長		27	特に必要と 認める者	浅川町 社会福祉協議会	会長	3	
13		"	保健福祉課長		28		社会福祉法人 石川福祉会	施設長		
14		"	住民課長		29		浅川町婦人会	会長		
15	"	税務課長		町長以外の委員の数				28		

浅川町防災会議の構成員に副町長らを補充するもの

防災会議設置条例の改正

問 最近開催されたのはいつか。

答 過去の防災会議は平成26年に開かれた。本年度は年明け2月に

予定している。

【採決】全会一致で可決しました。

国保条例の改正

国民健康保険事業の保険者が福島県となったことにより市町村財政運営の形態が大きく変更となつたため、国保基金に積み立てる額を「前年度の剰余金の5%」から「予算で定めた額」に改めるもの

問 条例改正で国保の基金がなくなるわけではない。今後残されるといふことで今後の運用は。

答 県が保険者になり令和6年から10年度まで県の統一単価調整を行う。11年度から県内全て料金が統一されるので適用前には基金に

【採決】全会一致で可決しました。

問 条例改正で国保の基金がなくなるわけではない。今後残されるといふことで今後の運用は。例えば、収納率が著しく低下をして納付金に不足額が生じた場合には、その不足額に基金を充てることはできる。

【採決】全会一致で可決しました。

福貴作西地区農用地等 災害復旧工事 1456万円の増額に

令和元年10月の台風19号で被災した、福貴作字五斗時地内の「福貴作西地区農用地等災害復旧工事」については、令和2年6月16日に工事請負契約が議決され、工事がおこなわれていました。工事施行により当初設計よりも掘削土量、購入土量等の増により、工事請負契約を原契約金額8745万円に1456万7000円を増額して1億201万7000円に変更するもの。

【質疑】

問 最初の契約から約20%の増額の内容だが、最初の見積りは何だったのか。

答 設計段階では、流入土砂によって埋もれているので正式な掘削土量が分らなかった。

実際に撤去してみないと分らない面があった。当初から20%、30%ぐらいの増額は予定していた。

問 実施設計の精密度はどうなのか。今までこんなに大きな変更は災害を含めてもなかったと思うが。

答 測量等についてはあるポイント、ポイントでしかできない。実際に工事をやってみないと分らないというのが大きなところだ。

問 1456万円の増額だが、補助対象になるのか。

答 農地については96%、農業施設は98・8%が後日補助金で措置される。

【採決】

全会一致で可決しました。



人事

固定資産評 価審査委員

住所

浅川町大字中里字古
屋敷76番地

氏名

渡辺 裕之

生年月日

昭和32年2月生まれ

【採決】

全会一致で同意しました。



請願

日本政府に核兵器禁止条
例の調印・批准を求める意見
書の提出を

請願者 福島県原
爆被害者協議会会長
木幡吉輝
紹介議員 角田 勝
上野信直

【内容】

広島と長崎にアメリカの原子爆弾が投下されてから72年も経た2017年7月7日に歴史的な核兵器禁止条約が採択され、批准国は2020年10月24日、国連軍縮週間の初日に50ヶ国となりました。これにより同条約は2021年1月22日に発効されます。条約は、核兵器について破滅的な結末をもたらす非人道的な兵器であり、国連憲章、国際人道法に反すると断罪して「悪

の烙印」を押し、核兵器はいまや不道徳であるだけでなく、歴史上初めて明文上も違法なものとなります。アメリカの「核の傘」に安全保障を委ねている日本政府は、核兵器禁止条約に背を向け続けています。こうした態度を改め、「唯一の戦争被爆国として核兵器全面禁止に真剣に努力する証として、核兵器禁止条約に参加、調印、批准することを強く求めます。

【採決】

全会一致で採択しました。

無病息災 コロナ退散



滝輪地区どんど焼き
1月10日

11・13
臨時会

コロナ禍のもと 町長・議員ら特別職と 全職員の期末手当を減額

11月13日、臨時会が召集されました。
町長が提出した議案は、県人事委員会の勧告に伴い、町の議会議員、町長等、職員それぞれの期末手当を0.05引き下げるものでした。
12月期末手当の基準は12月1日なので12月定例会を待っている間に合わないため、臨時会の開催となりました。

議会議員の期末手当引き下げ

【質疑】

問 0.05ヶ月引き 9千円程度の減になる

下げることで、議会全体では年間どのくらいの減額になるのか。

【採決】

答 議員は年間で15万 した。 全会一致で可決しました。

町長等の期末手当引き下げ

町長、副町長、教育長の期末手当を引き下げます。

【採決】 全会一致で可決しました。

職員の期末手当引き下げ

【質疑】

問 職員の期末手当は、コロナで経済が低迷している状況をふまえて引き下げるのか。

答 告を尊重し、職員も提案した。

【採決】

答 県人事委員会の勧め した。 全会一致で可決しました。

12月期末手当の支給額

		令和2年		令和元年
町	長	1,416,512円		1,438,305円
副	町長	1,134,331円		—
教	育長	1,061,450円		1,077,780円
議	員平均	431,837円		339,747円 ※議員の改選があり、4人が満額支給にならなかったため、平年より少なくなっています
一	般職員平均	647,995円	72人	667,126円

議会全員協議会

令和2年11月13日、臨時議会終了後、全員協議会が開催されました。協議事項は、
①旧山白石小学校跡地利用等について
②学校施設整備基本構想策定に伴う中間報告について

旧山白石小学校跡地利用取り下げ

令和2年5月21日に旧山白石小学校跡地利用の件で学法石川より校庭を無償貸与、校舎を無償譲渡してほしい旨の申し出がありました。利用について話し合いが行われていましたが、11月6日学法石川より、陸上部練習用トラックとサッカー場の併設が不可能なので、利用計画を取り下げたいとする文書が提出されました。



旧山白石小学校

浅川町学校施設整備基本構想策定中間報告

学校施設の現状

これまで3校あった小学校が令和元年浅川小学校に統合、現在小学校中学校が各1校。
○浅川小学校の南校舎は築38年経過、北校舎は築50年が経過

○浅川中学校の校舎は築42年が経過しており令和2年の校舎耐力度調査では基準点を大きく下っているので構造上危険な状態である。

A案 現在の浅小・浅中学校を耐震化及び大規模改修
B案 現在の浅小・浅中の片方を耐震化及び大規模改修と増築
C案 浅川中学校敷地に小学校と中学校の新校舎を建設

中間報告

※総合評価はC案が高いと報告されました。

【質疑】

問 基本構想策定において、教育委員などの意見を聞くべきと思うが予定はあるのか。
答 定例教育委員会の際に進行状況を説明している。

問 今後、児童生徒が減少していくのであれば、小学校と中学校を一つにする方向に進めてもらいたい。
答 少子化の対策はしていくが、30年後、50年後の将来を見据えて検討する。

問 基本構想策定後のスケジュールは。
答 令和3年度が基本設計、令和4年度実施設計、令和5年度着工の予定としている。

中学校生徒数の推移

年度	入学者数	全生徒数
令和元	59	181
2	45	164
3	61	165
4	56	162
5	58	175
6	55	169
7	53	167
8	44	154
9	48	146
10	41	133

※学校教育課資料による

小学校児童数の推移

年度	入学者数	全児童数
令和元	53	329
2	44	326
3	48	313
4	41	299
5	27	268
6	36	249
7	35	231
8	31	218

10人の議員が質問

(通告順)

1 菅野朝興議員

- (1) 出シ山白石間の町道の舗装化が必要ではないか
- (2) コロナ感染症により収入が減少した方々への雇用創出が必要ではないか

2 会田哲男議員

- (1) 中根・袖山地内用水路改修工事について
- (2) 河川管理道のつっかけ橋下流（殿川と畑田川合流ヵ所）に橋の設置を
- (3) 中学校のスクールバス実施について
- (4) あさかわこども園とあさかわ図書館前に横断歩道の設置を

3 水野秀一議員

- (1) 旧里小、山白石小の跡地利用について
- (2) 中学生もバス通学にできないか

4 兼子長一議員

- (1) 令和3年度予算編成において個人事業主などへの支援策拡大を講じるべき
- (2) 浅川町学校施設整備基本構想について

5 須藤浩二議員

- (1) ごみの収集について
- (2) 新型コロナウイルスについて

6 木田治喜議員

- (1) 令和3年度予算編成に向けて給与費予算計上及び補正予算の関係性について
- (2) 内部統制について
- (3) 人事評価制度について

7 金成英起議員

- (1) 染小貫線道路改良工事について
- (2) 防犯灯設置要望について

8 岡部宗寿議員

- (1) 県道壱・泉崎線の日渡橋の件について
- (2) 社会福祉協議会について

9 角田勝議員

- (1) 持続化給付金と町農家へのコロナ禍支援をすべき
- (2) 町単独事業（災害復旧）の実施状況と未実施事業について
- (3) コロナウイルス感染症支援制度による実施状況と未受給者を出さないようにして頂きたい
- (4) 浅川町の「生きがいデイサービス」の改善をすべきことについて
- (5) 「元気あさかわ夢工房」についての運営と問題について
- (6) 山白石小、里白石小の跡利用を積極的に進めるべき

10 上野信直議員

- (1) 新型コロナの検査体制強化と正月時などの帰省希望者への対応は
- (2) 即身仏や城山からの風景など町おこしの材料を新年度どう生かすのか
- (3) 人口減少対策に効果がある若者定住移住促進住宅の建設を進めよ
- (4) 原発事故による町の損害は全額しっかり東電に払わせよ
- (5) 学校給食費を完全無料化し、子育て支援の強化と教師の負担軽減を
- (6) 右折レーンが新設された大名大塚地内の国道118号の側溝にふたを
- (7) 社保の子ども医療費の窓口負担ゼロを郡山市の医療機関にも広げよ

町政を問う

一般質問は12月11日に行われ、
通告した10議員が町長等の考え
を質しました。傍聴者は10人
でした。

※一般質問とは
定例議会において、各議
員が住民の代表として行政
全般にわたり町当局の考え
や疑問をたずねることです。
また議員にとって政策の
見直しや政策を提言する重
要な活動の場です。

出シ山白石間の町道の 舗装化が必要ではないか



菅野朝興議員

舗装の予定はない 維持補修で対応する

問 現在、出シ山白石間の町道は、一部は舗装されているが、山中に入っていくと斜面が急になっており、大雨の時には、道路が川のようになり、わだちが深くえぐられて、通行が危険な状況になっています。山白石からは、救急車の通行にも舗装化の声がある。一点伺う。

できれば全線舗装化か、危険箇所の一部舗装が必要かと思われるが伺う。

町長 現在のところ舗装の予定はない。不良箇所については、維持補修等で対応したいと考えている。今後の改良舗装等の計画については、交通量を考えると難しいと判断している。作業道として、作業等で身の危険があるということなので、当然、補修等が必要であれば今後やっていきたい。



わだちの跡もひどい出シ山白石間の町道

コロナ感染症により収入が減少した方々への雇用創出が必要ではないか

町に仕事はある、相談があれば何らかの対応を考えたい

問 コロナ感染症の影響で仕事がなくなった人や、収入が減少してしまった人も出てきている。また、今年の夏場に、町内の数か所で、除草作業が追い付いていない事が議題に上がった。以上を踏まえて一点伺う。仕事がなくしてお困りの方や、収入が減少してしまった方などの救済として、町と直接、登録制にするなり、年契約で町で雇うなりして、生活を守るための雇用創出が必要

ではないか伺う。

町長 コロナ感染症による雇い止めや会社都合による解雇は、町内の事業所ではなかったと聞いている。また、そういった相談や問い合わせはきていない。今後そのような話が出たら何らかの対応を考えたい。町に仕事はある。仕事がない方が道路の作業員で来ていたければ、それなりの方は考えさせていきたい。

中根・袖山地内水路改修工事の着工と完了予定は

令和3年～4年度の2ヶ年で完了予定



会田哲男議員

問

中根及び袖山地内水路については、地区の長年の要望を受け、補助事業として採択され設計が終わり、工事に入るとのことですが、地区の方からは、一向に進まない、説明もない、いつ始まるんだとの声がある。確認の意味も込め伺う。

①着工予定、工事の内容、補助率は。

②令和4年度までに完了するのか。

③地区への説明はどのようなにするのか。

町長

①着工は令和3年度を予定している。

水路の底盤コンクリート舗装と破損箇所

修が主なもので、補助率は国が50%、県が14%、町が21%、地元負担が15%だが、水路修繕であり、地元負担を求めず、町が36%負担する。

②令和3年度、令和4年度の2か年で完了させる予定。

③今年度内に各地区へ説明会を予定している。1年目、2年目の具体的な工事予定を示せるようになれば、速やかに開催したい。



工事予定の中根地内水路

あさかわこども園と図書館に横断歩道の設置を

歩道設置のための測量設計をしている

問

あさかわ図書館は、子どもたちに多くの利用を促すものだ。こども園は園児の散歩等の安全確保が必要だ。

大名大塚背戸谷地線の開通による車の流れの変化により、危険度は増したと思う。

昨年12月議会の答弁では、両側の歩道の設置も含め検討することだった。

早速に横断歩道を設置すべきと思うが、1年たった今、横断歩道の検討・設置について伺う。

取得が完了すれば、歩道工事を来年度に着工し、横断歩道の設置についても、改めて要望したい。町の宝である子どもたちの安心・安全のために横断歩道は必要だと思っており、さらに要望を強めて一日でも早くできるようにしたい

町長

横断歩道設置のためには、基本的には道路両側に歩道等があり、歩行者が安全に退避できる場所が必要だ。現在、こども園から図書館まで歩道を設置するための測量設計を行っ

ている。今年度、用地取得が完了すれば、歩道工事を来年度に着工し、横断歩道の設置についても、改めて要望したい。町の宝である子どもたちの安心・安全のために横断歩道は必要だと思っており、さらに要望を強めて一日でも早くできるようにしたい

旧里小・山小の跡地利用は

町民が活用できる形態や町外からの活用も視野に検討する



水野秀一議員

問 浅川町と学校法人石川義塾とで進められていた旧山小の活用について、11月6日に計画の取り下げが提出され白紙になってしまった。地元はもちろん町民の期待も大きく、今回「取り下げ」は残念でならない。今後この教訓をしっかりと受けとめ、跡地利用を進めていく必要があると思うが伺う。

①その後里小、山小に問い合わせなどあったのか。

②どこかに貸すことばかりでなく町民に寄り添った利活用も考えるべきと思う。子どもから大人までの考えを募

集して利活用を考えるべきではないか。

町長 ①コロナ禍での影響等もあり、具体的な問い合わせ等はない。

②現在利用されているグラウンドゴルフ、少年野球等への利活用を考慮し、町民が活用できる形態または町外からの活用も視野に入れ検討することにする。



中学生もバス通学できないか

来年度から実施したい

問 小学校の子どもたちは1・5km以上の地域はバス通学になり、父兄から安心安全で通学できると大変喜ばれている。以前にも質問したが、中学生もバス通学にできないかと父兄からの強い要望がある。前の答弁では、中学生までとなるとバスの大型化や朝夕の便数の増加なども見込まれるので今後も引き続き調査をして来年度までに結論を出すということだった。令和3年度から実施するのはいかがでしょうか。

教育長 現在小学校スクールバスは、5コースで朝夕1便ずつで運行しており、小中学生と一緒に乗せるとなればバスの増車となる。今走っているコースを細分化して運行計画を検討している。小学生と中学生では下校時間に大差があるので、2便等でできる限り児童生徒の待ち時間が生じないようにしたい。便数や時間などもしっかりと検討し、来年度から実施の方向で検討したい。

令和3年度予算に個人事業主へ支援策拡大を講じるべき



兼子長一議員

コロナ対策長期化を視野に予算編成を図る

問 新型コロナウイルス感染症拡大により、飲食店、小売店、農家等は収入や売上げに大きな影響を受けている。コロナウイルス対策は長期間続くと思う。当初予算に支援策を計上し、地域経済と生活を支えるべきで3点伺う。

- ①町独自で支援制度を設けるべき。
- ②感染防止対策事業補助金の申請件数と予算残額は。
- ③コロナ対策により町財政への影響は。

町長 ①今後、国の臨時交付金の動向を見て検討する。

③コロナウイルス対策の長期化も視野に入れ、事業の見直しを行いながら、令和3年度の予算編成を図る。

農政商工課長 ②事業継続支援給付金10万円は115件で残り350万円、事業者支援補助金3万円は16件で残り約858万円であり、影響の大きい業種に絞って追加の支援策をする。



浅川中学校全景

浅川町学校施設整備基本構想の内容は

校舎の老朽化と安全性確保のため策定する

問 11月13日の議会全員協議会で説明のあった基本構想中間報告の施設整備方法、A案B案C案（9ページ参照）における比較検討について今後の方針は。

①基本構想策定において関係者や町民・保護者の意見を聞くのか。
②基本設計と実施設計の違いは何か。
③基本構想においてC案を選択した場合、浅川小学校跡地利用が懸案事項となるが、いつまでに跡地利用を具体化するのか。

教育長 ①教育委員や教職員等の意見を取り入れ進めている。今後、各学校のPTA役員、保護者の意見も取り入れられる。

学校教育課長 ②基本設計は、具体的な建物の大きさや工法、材料等大まかな設計図で、実施設計は、詳細設計と工事費を算出するために行う。
③来年度以降具体化していきたい。

ごみ収集の改善を

工事の完了まではご理解を



須藤浩二議員

問 ①石川町にあるごみ焼却施設が改修中で、一般家庭ごみの持ち込みができず大変不便との声がある。改善をすべきと思うが町の考えは。

②長期休業や月曜日が祝日の時など一週間ごみ収集が行われず困っているとの声がある。ごみを持ち込めるところを整備するべきと思うが町の考えは。

③月曜日の収集ができない時は火曜日の収集をしてほしい。

④生活の変化で収集日にごみを出す事ができない独居老人や交代勤務をしている人などにも対応できる24時間ご

町長 ①平成30年4月から3年間、ごみ焼却施設等の改良工事を進めており、期間中は事故に鑑み立ち入りを制限しており、自己搬入の利用規制についてはご理解願いたい。

②祝祭日の翌日収集を行わないことは石川管内5町村の統一した取り扱いなので、整備は考えていない。

③収集業者は事業所のごみの収集もしており、ご理解願いたい。

④近隣の方から臭いと苦情が出てくると思う。



町事業の開催・中止の基準は

対策本部会議で指針を決めている

問 ①町事業（主催・共催）を開催するにあたり、町ではどのような基準を設けているのか。

②10月に感染者が発生したとき「町長からのメッセージ」が回覧板でまわった。文中に「本町」と書かれていて町民に不安を与えたことに対して町長の思いは。

町長 ①対策本部会議において「町主催等のイベント及び公共機関の体育館等について」として、これらに関する指針を定め、福島県新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を踏まえ、対処していく。

②今後、誤解を招くことのないよう注意する。

③国の臨時交付金の動向を踏まえて支援の可否も検討し、現在行っている補助の予算に残が出るようであれば、新たな支援策に組み替えることも検討したい。

人事評価制度にかかった費用と今後の活かし方は



木田治喜議員

1,370万円、職員の能力開発を図る

問 平成24年4月の地方公務員法の改正により、平成26年4月から正式導入された人事評価制度について浅川町の対応を伺う。

①人事評価制度の手順及び評価後の利用状況。
②人事評価制度の発足により令和元年度までの費用及び該当人員と本年度を含む今後の維持費用は。
③本年度の目標管理を達成するに当たっての町の政策目標及び各課それぞれの目標は。
④町は今後、人事評価制度をどのように活かすか。

町長 ①組織目標、個人目標を定め期首、期末に面談するなど「マニアル」に基づき実施し、適材適所の配置と能力開発に活用している。
②令和元年度71名、令和2年度74名、平成28〜令和2年度までに1,370万5千円となる。
③令和7年度を目標とする3つのキーワードを基本とする。各課の目標は防災体制の確立等、各課それぞれ設定している。
④職員の士気向上による能力開発を図るため活用する。

問 平成29年6月、地方自治法が改正され、都道府県と政令指定都市は令和2年4月より内部統制の方針を定め、体制整備が義務化された。当町は、努力義務とされているが、積極的なリスクマネジメントの必要性の観点から考えを伺う。

①役場内の業務点検はどのように実施されているか。
②役場内の管理体制の課題は。
③内部統制とは何か、何を行うか。
④法が定める内部統制

の努力義務をどう認識し今後リスクマネジメントにどう取り組んでいくか。

町長 ①業務執行にあたり、法令、規則に基づく中で、チェックリストを作成するなどの業務点検をしている。
②課題に対し組織的な取り組みまで整備できないのが課題と考える。
③住民から信頼される地方公共団体の実現と理解している。内部統制の整備・運用では計画・実行・評価・改善を常に取り組むべきと

意識改革を図り、体制整備に取り組む

リスクマネジメントにどう取り組むのか

思う。
④町長及び職員の組織マネジメントに対する意識改革を図り、体制の整備が必要と認識し取り組む。



執務中の浅川町役場

染小貫線道路改良工事の状況は



金成英起議員

現在測量設計を行っている 来年度から工事に着手したい

問 1級町道染小貫線道路改良工事について、2点ほど伺う。
①現在の状況と進展について。
②今後の進め方について。

町長 ①事業実施に向けて、9月に交通調査を実施し、現在は測量設計を行っている。
②今年度中に工事用地取得、県道の交差点協議を完了し、来年度から工事に着手し染小貫線道路は必ず実現させる。

防犯灯増設の要望が出ている町道



防犯灯設置の要望がある

全町から要望があり厳しいが
検討したい

問 老人ホームさぎそう南側、背戸谷地団地住民の方から防犯灯設置要望がある。さぎそう西側の町道を南に350mの区間に2基しかない。防犯灯の増設をして頂きたい。もう1点は、さぎそうから7軒目あたりが真っ暗だ。内側通りに入った所も暗い。地域住民、子どもたちの通学路の防犯対策として、現地を調査し、新規に必要な箇所を優先し対応を願いたい。

町長 毎年数多くの要望が出され、新設及び修繕等を図っている。防犯及び通学路の安全対策を踏まえ、適切に対処していく。防犯灯の設置はかなり全町から来ているので、本来に厳しい状況だが、いろいろと検討させていただきたい。

総務課長 内側の通りは公道ではなく私道であり、そういった部分については町は設置している状況はないので、その路線については了承いただきたい。

県道埴泉崎線の日渡橋 付近の改善を



岡部宗寿議員

橋の架け替えの要望は県に出している

問

この県道は所により道幅が狭い所や橋が狭いなど整備の遅れがある。9月の議会では他の議員が同じ質問をし、その時の町の回答では長年県に要望を出しているがなかなか実現が難しいとの事。そうしたら他の方法を考えるべきではないか。代替案として滝輪から弘法山の裏の所へ架ける案が最良と考えるが、町では前向きに検討すると答えたが、その後の進展はあったのか。

町長

日渡橋については、県の地域づくり事業の打ち合わせの際に、国道118号へ接続す

るための橋の架け替えの要望について、説明している。正式な要望は、例年6月に実施している県への事業要望の際に行いたいと考えている。



滝輪地区から弘法山（右手）を望む

社会福祉協議会の監査は

町の補助金に関する決算は 町の監査委員が監査している

問

福祉ニーズは多様化し、高齢化もあって益々増大している。日本国を担ってこられた

町長 ①以前は利用者の送迎にバスを利用していたが小回りができないため、現在は職員が分散してワゴン車等で送迎を行っている。

②町補助金に関する決算については、町の監査委員が監査を行っている。

団塊の人たちも順次お世話になる。我が町では石川郡でも早くより介護事業に関わってきた。私もそうだが町民の多くの人たちは福祉センターと社会福祉協議会の事業内容の役割の違いについてよく理解されていないと思うのだが、それを踏まえて3点ほど伺う。

①送迎を職員が行っているのは。

②補助金について町監

査が入れないのか。③不在の事務局長はどうなっているのか。

③現在不在となっている事務局長については、適任者選出に鋭意努力しているが決定には至っていない。

農家に持続化給付金申請の援助と稲作への支援を



角田 勝議員

周知に取り組んでいる

問 コロナ禍によって農家も大きな被害を受けている。米価は1俵2千円近くも安く、畜産も牛肉が暴落しやめざるを得ない状況だ。町としての農家への支援は仔牛出荷への2万円だけで、町農業の柱である稲作への支援はない。国の持続化給付金事業が農業にも該当すると農林大臣が国会で答弁している。ぜひ農協と町が力を合わせ申請の援助をすべきではないか。鮫川村では米作面積反当1万円を支援することを決めた。他町村でも支援策を決めている。我が町でもぜひ実現すべきだ。



町長 町では持続化給付金の制度開始当初から広報誌、ホームページ、回覧、関係機関への依頼等で広く周知してきた。その中で、農業も該当になることは記載されている。7月には農事組合を通し農家にチラシを配っている。JAも農業が該当することは承知している。申請期限が1月15日なので、回覧で該当者は忘れず申請するよう周知を図っている。減収となった全業種を支援したいが財源に限りがあるので、影響の大きい業種から支援していきたい。米農家への支援は県内でも数町村しか行っておらず、情報を集めたい。

「生きがいデイサービス」の改善をすぐに行うべき

良いサービスができるよう社協と協議検討したい

問 我が町では、20年も前、介護保険制度ができる前から独自の「生きがいデイサービス」事業に取り組み、好評だった。高齢者の健康を守る他町村にはないもので先進的なものだ。もっと改善して多くのお年寄りが利用できるようにとの願いの観点から、①現状はどうなっているのか。

②介護認定とならないためにも、多くのお年寄りが利用できるようきちんと募集すべき。
③施設利用を以前のようにならざるに日本間

にし、机で昼寝する状況をすぐ改善すべき。

町長 ①火・水の週2回実施し、9月までに49日開所し、延べ利用者は595人、1日平均12・1人で、実人数は22人となっている。

②生きがいデイサービスは介護事業の地域支援事業の一つとなっていることから、一般の介護サービスと同様に特別な募集はしていない。申し込みは地域包括支援センターに問い合わせいただきたい。
③サービスの利用形態

については事業主体の社会福祉協議会と協議検討したい。椅子で寝ているというのは初めて聞いた。良いサービスができるよう協議・検討したい。

新型コロナの検査体制の強化は進んでいるのか

行政検査1日14人、一般検査50人に拡充



上野信直議員

問 一つ、誰が感染してもおかしくない状況が強まっている。そこで、①9月議会で町長は、感染拡大状況に鑑みてPCR検査人数の増数や施設拡張など、検査体制の拡充を要望しているが、その後拡充されたのか。②発熱し、発熱外来センターで検査する人と、確認のため検査を受けたいという人では、費用や結果判明までの時間に違いはあるのか。③帰省予定者がひらた中央病院で念のため検査を受けるのは可能なのか。費用はどうなるのか。

町長 ①ひらた中央病院での9月以降の検査体制は、発熱などの症状があり相談センターを経由する場合、またはかかりつけ医の診療に基づく行政検査は1日14人程度、それ以外の任意による一般検査は1日50人程度可能と聞いている。検査を必要とする人が急増した場合は、検査時間の拡張を想定しているということだった。②費用は、行政検査は保険適用になるが、一般検査は全額自己負担となる。結果判明までの時間に違いはなく、通常4時間程度である。③福島県外から帰省する者が検査を受けられるようひらた中央病院と契約した。費用は管内町村との均衡を図るため、自己負担とした。



ひらた中央病院の発熱外来センター

問 福島県は18歳以下のこどもの医療費が無料になっている。無料には2つの方式があり、医療機関の窓口で自己負担分を一切払わないで済む現物給付方式と、窓口で自己負担分を払い、後で役場に行つて手続きをして返金を受け取る償還払い方式がある。町民にとって良いのが現物給付方式であることは言うまでもない。ところが、郡山市内の医療機関と合意ができておらずに償還払いとなっている。現物給付になるよう郡山医師会などに働きかけをすべきではないか。

子ども医療費窓口無料化 郡山の医療機関にも広げよ

郡山医師会との交渉実現に向け協議を行つてみたい

町長 郡山市の医療機関にかかっている子どもは、令和元年度で147件だった。郡山医師会との交渉は、実現に向けて協議を行つてみたいが、郡山医師会は大きな組織なので各医療機関の調整等が難しい点であるかと思う。また、現物給付方式に変更する場合は、各医療機関、国保団体連合会や社会保険診療報酬支払基金等の契約が必要となる。育成医療について子ども医療費、重度心身障害者医療費と同様、現物給付の検討を行いたい。

中学生もバス通学に

令和3年4月より 運行開始予定



運行中の小学校スクールバス

令和元年12月定例会

答

スクールバスの大型化、便数の増加が見込まれるので調査をしていく。

問

生徒の登下校時の安全安心を確保するため、小学生のスクールバスに中学生も乗せざるべき。

令和2年12月定例会

答

利用意向調査の結果1・5km以上の地域の生徒の大半が利用を望んでいる。令和3年度からの運行に向けて当初予算に計上する。

問

スクールバス運行に向けての調査、検討はしたのか。

スクールバス意向調査（中学生）

年 組 番 氏名 _____

住所 浅川町 大字 _____ 字 _____

希望するものに○をつけてください

1 スクールバスを利用しますか
 利用する
 利用しない

2 利用するに○をつけた方
 往復利用する
 登校時のみ利用する
 下校時のみ利用する

スクールバス利用意向調査

東北の ミケランジェロ

小松寅吉と亀之助の 親子石像馬奉納

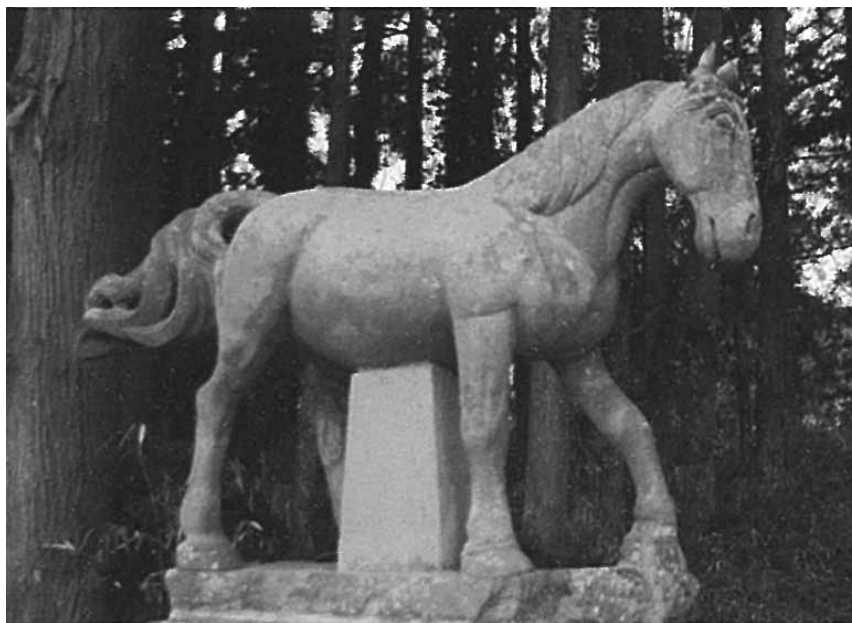
(文と写真 藁谷六朗)

小松 寅吉

(こまつ とらきち)



弘化元(1844)年、山形村(現石川町)に生まれる。高遠藩から浅川町福貴作地区に移り石工をしていた小松利平に弟子入り。白河市東の鹿島神社の狛犬など数々の傑作を残し、東北のミケランジェロとたたえられている。大正4(1915)年に死去。



「雌石像馬」小松寅吉作

今回は小松寅吉、長男亀之助作の石像馬について寄稿したいと思います。

小松寅吉の石像馬作品は、石川町近津神社境内、須賀川市妙見神社入口に岩を砕いて作った狭い参道の右側から見下ろしています。

白河市東下野出島の坂本観音(勝善神社)です。小野田郵便局信号交差点を左、棚倉方面約700m右側に坂本観音(勝善神社)の案内板があり、小さな森に囲まれ寅吉作の石像馬が迎えてくれます。中央にお堂があり、石像馬一対が御神馬として守っています。

雌馬左が小松寅吉(布孝)作、雄馬右が長男亀之助(布行)作、親子で奉納されていました。

案内板には、平成20(2011)年3



「雄石像馬」高坂庄司作

月11日東日本大震災で2頭の石像馬が脚部から折れてしまい、補強を行い修復したと説明されています。

馬と人との関係は古く、5千年前は食料として、その後家畜化され、農耕馬、輸送馬、軍用馬に用途が別れ、寒い地方の農耕馬は曲り家を作り馬と同居生活し、大切に飼われていました。

軍用馬として多数戦場に徴用され、別れの辛さで馬と涙したお話がありました。

この坂本観音や、石川町近津神社御神馬像は、日清戦争に軍馬として徴用され戦没した馬達の霊を慰めるために、氏子有志が建立したと言われています。

坂本観音の雌石像馬は明治37(1904)年福貴作布孝の銘が彫られ、寅吉は当時福貴作地の金沢幸作宅の馬をモデルに幾度も訪れ作ったといわれています。

雄石像馬は布行と銘が刻まれているが(同年作)、観音祭りに馬をこの石像馬に繋ぎ、祭り参加中花火に驚き暴れ壊れてしまい、布行の石像馬は土中に埋められたと言われています。残念です。

昭和10(1935)年に浅川町の石高坂庄司により作り直されて小柄な雄馬になっていました。

古里 写真館

Vol.15
Photograph

交流のページ



平成7年 第50回国民体育大会(ふくしま国体)での町長からの聖火リレー引継式/古語宮 写真の久保木さん提供

—お願い—

古里の写真をお持ちの方は、ぜひご連絡下さい。誌上でご紹介させていただきます。

浅川町議会事務局 36-11182



昭和56年 大明塚子若連の秋祭り集合写真/本町 須藤浩二さん提供

町民の声



にじいろお菓子店 店主
小針 明美さん

生まれ育った浅川町に ケーキ屋さんを 作りたいくて



私は、幼少の頃からお菓子作りが大好きで、パティシエールの道を選び都会にて沢山の経験と技術を学んで参りました。子育てにより、一時その職を辞める事となりましたが、子供も少しずつ大きくなり、子育てをしながら経験を活かして何か仕事が出来ないか？という思いから、4年程前に小さな看板とともに予約制

のケーキ屋を自宅の工房にてスタートさせました。

そして、この生まれ育った浅川町にケーキ屋がない事を知り、いつか地元の実店舗を作りたいという気持ちもありました。始まりは、中々苦戦を強いられましたが、まずは、ここにケーキ店がある事を知って貰う事だと思い、SNSを活用したりイ

ベントに出店して、実際に手に取ってもらい食べて頂く機会、PRの場を増やし販路開拓を行いました。その後、お客様の応援メッセージを頂き、足を運んで下さるよう

になりました。そして、昨年10月にお陰様で実店舗をオープンする事が出来ました。

お店の名前の由来は、虹を見つけた時のキラキラとした幸せな気持ちを、ケーキで現してみたいという思いから名付けました。

看板のケーキは、オーダーケーキです。お祝いの席や、お誕生日にこんなケーキを作りたい、そんなお客様の思いを表現出来るように、特別な時間の思い出の一部となるように作れば幸いです。



今回、編集委員会で一つの議論がありました。編集委員6人がそろって昼食をとることは、大人数での会食に当たらないか。話し合いの結果、黙って食べるということになり、みんな無言でラーメンをいただきました。深刻なコロナ禍。受験を乗り越え、学生生活を始めた若者が、学校にも行けない状況には胸が痛みます。コロナが早く収まるよう、できることはしていきたいと思ひます。 上野信直

編集後記

広報特別委員会 上野 信直 渡辺 幸雄 水野 秀一
会田 哲男 兼子 長一 菅野 朝興

議会会議録はあさかわ図書館でご覧いただけます。町のホームページでも見ることができます。